

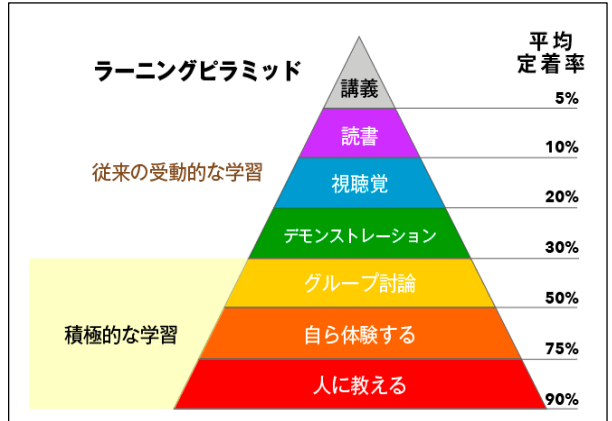
校長室から

二中では教室の机をコの字に配列し、子ども同士のお互いの顔が見え、発言を聞き合えるような教室デザインとしています。昔は教員が生徒に一方的に話をし、生徒はそれを覚えるというのが普通の授業形態でしたが、現在は、自分でしっかり考えることや話し合いを通じて深めあうことが大切となってきており、このような形で進めているのです。

次の学習指導要領(学校の学習内容や範囲を定めたもの)でも、アクティブラーニング(積極的な学習)としてますます重要であると定められました。

右の図はラーニングピラミッドと言って、どの方法が学習を理解しずっと記憶していただけるかを示したものです。それによると、人の話を聞いているだけや本を読むだけでは10%しか定着しておらず、逆にグループで話し合ったり、人に教えることで定着率がグッと高まることがわかってきています。二中ではいち早く、この形を取り入れ、研究を続けています。単に、知識を詰め込むだけでなく、疑問に思ったことを自分で調べたり、他の人の意見を聞いたり、まとめて説明できる創造的な生徒の育成をめざしてまいります。

どうかご理解ご協力をよろしくお願いします。



三年生 ナガサキ修学旅行へ

6月15日～17日に三年生はナガサキに修学旅行へ行きました。長崎原爆資料館の見学や被ばくを体験された方からの聞き取り、平和祈念式を通して、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを勉強してきました。また、2日目の夜には、中村由一さんからは、戦争や差別の体験から命の大切さや仲間の大切さを学び、そのあと、全体学活やクラス別学活で、自分のことや仲間、クラスのことについて話し合いました。



二中の修学旅行は毎年、準備に時間をかけます。長崎の歴史や戦争、原爆のことを事前にしっかり学習しておかなければなりません。また、聞き取りを通して、戦争や平和のことだけでなく、自分の生き方を考える旅にさせたいと考えているからです。生徒たちは今までの15年間を振り返り、自分の将来を考えるととともに、残りの中学生生活を仲間とともにどう過ごすかをこの旅で考えてくれたと思います。家庭でも機会を作ってぜひ、修学旅行の思い出を分かち合ってください。

二中の修学旅行は毎年、準備に時間をかけます。長崎の歴史や戦争、原爆のことを事前にしっかり学習しておかなければなりません。また、聞き取りを通して、戦争や平和のことだけでなく、自分の生き方を考える旅にさせたいと考えているからです。生徒たちは今までの15年間を振り返り、自分の将来を考えるととともに、残りの中学生生活を仲間とともにどう過ごすかをこの旅で考えてくれたと思います。家庭でも機会を作ってぜひ、修学旅行の思い出を分かち合ってください。



合同慰霊祭



大浦天主堂

二年生 緊張した面接体験！

2年生は7月の仕事体験学習の前に、地域で会社やお店を運営されている方やハローワークの人に来ていただいて、本番さながらに面接の練習をしていただきました。生徒たちは、緊張しながらも仕事体験の抱負や自分の将来についてはきはき答えました。面接をしていただいた方からはマナーや身だしなみ、言葉使いについてもアドバイスをいただきました。生徒にとっては日常、保護者や教職員以外の大人と話すの機会が少なく、改まった形で話すのは初体験であり、とても緊張していました。しかし、面接官のみなさんからは、今年は、マナーも良く、はっきりと受け答えが出来ているとほめていただきました。普段の授業では得られない、社会で必要な力を養う良い機会となりました。ご協力有難うございました。

【ご協力いただいた事業主の方々】

山野 忠男さん(成長不動産)
 北出 昭さん(太鼓屋嶋村)
 中岡 清晃さん(よさこい)
 中川 めぐみさん(グランピピ)
 西野 清孝さん(元PTA会長)
 中岡 伸浩さん(ハローワーク岸和田)



地区別懇談会にご参加ください

7月21日(木) ハート交流館(東・堀・福田)

半田会館(新井・桜塚・半田・パラモア)

7月22日(金) 小瀬会館(久保・久保団地・小瀬)

津田南会館(津田小校区)